

地域包括支援センターの整備状況に関する研究—地理情報システム（GIS）を基にした地域資源の把握—

体育学部

准教授 廣瀬 圭子

2025.4

概要

人口減少・超高齢社会において、高齢者がスムーズにサービス提供主体とつながることは喫緊の課題であるが、同時に地域資源や財政が有限であることを考えたときに、単純に「福祉施設を増やせばよい」という結論ではナンセンスである。そこで、本研究では、GISという最先端の地理情報システムを用いて、高齢者のアクセシビリティの視点から地域福祉の中核機関である地域包括支援センターの整備状況について正確なアクセス距離を把握し、その配置状況の可視化と、利便性について検討することを目的とした。この成果は、エビデンスが求められる地方自治体の地域福祉計画などの根拠資料として有用であるだけでなく、同様の地域福祉サービスの進捗管理に活用できる可能性を示唆するものである。

論文情報

掲 載 誌：老年社会科学, 2025.4 Vol.47-1, P7-19

タイトル：地域包括支援センターの整備状況に関する研究—地理情報システム（GIS）を基にした地域資源の把握—

著 者 名：廣瀬 圭子、筒井澄栄

URL : https://www.rounenshakai.org/5kikansi/syouroku_zenbu/47-1.html